# ひばり

一般社団法人 東員町文化協会 広報

第97号

令和5年2月発行

第55回東員町文化祭より

特別寄稿

## 「りんごの唄」は悲しい歌

水谷 仁士


戦後、一世を風靡した並木路子の「りんごの唄」は、子どもの頃によく歌った。私はこの歌は、明るい歌と思っていた。四番目の歌詞で「皆なで歌えばなおなおうれし」とあるように、明るさを表している

戦後のラジオは、ひっきりなしにこの歌を流した。敗戦後の日本に、明るい希望をもたらした。

昭和史を勉強する中で、この歌は明るさの中にも悲しい歌と知った。並木路子は浅草育ちで、東京の大空襲で戦火の猛火を避けるため、母と一緒に隅田川に飛び込んだ。彼女は助かったが、母は遺体となって浮かんだ。それに父も兄も戦争で亡くしている。戦争の傷みに耐えて、彼女は精一杯「りんごの唄」を歌ったという。

昭和の歌の多くは、明るい希望と哀愁が帯びている。たとえば、「白い花の咲く頃」、「山小屋の灯」、「湖畔の宿」、「長崎の鐘」は大好きでよく歌った。

先日の新聞の川柳入選作「紅白や横文字歌手のふえたこと」と掲載されていた。横文字ばかりでなく歌っている歌詞がテンポが早すぎて、私たち老人は追いついていけない。

紅白歌合戦の紅組司会の宮田輝さん、白組司会の高橋圭三さんが懐かしい。

略歴

昭和六十二年十二月二十六日　東員町選挙管理委員
平成九年十二月二日　東員町選挙管理委員長
平成二十七年十二月二十五日　東員町選挙管理委員長退任

# 文化祭

期間　10月29日(土)～11月6日(日)
会場　東員町総合文化センター

## 第55回東員町文化祭を終えて

皆様の作品に対する一生懸命さが伝わった展示会となりました。なにより無事故で終了できたこと、スタッフの一致団結、展示される方々のチームワーク、展示数が昨年より多かったにもかかわらず、作品展示がすっきりしていました。

ひとえに皆様のご協力のたまものです。ありがとうございました。

展示プロジェクトチームリーダー
加藤　八重子

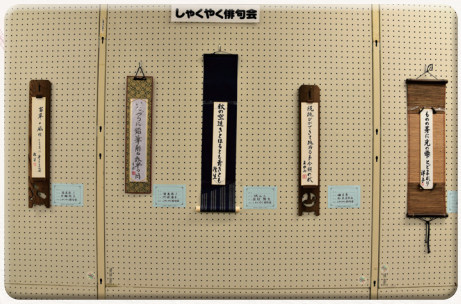
## 目次

特別寄稿……1
第55回東員町文化祭作品展……2
個人作品展・公民館講座作品展……4
大茶会……4
学校・学童作品展……5
連載続々・歴史よもやま話……6
活動このごろ……7
東員町と桑名市の関係③……10
会員の文芸作品……11
第30回春の文協まつり予告……12
編集後記……12

# 第55回 東員町

第55回
東員町
文化祭

洋裁サークル・ママミー


しゃくやく俳句会

写遊人

岡田水彩画グループ

岡田水彩画グループ
四季彩クラブ

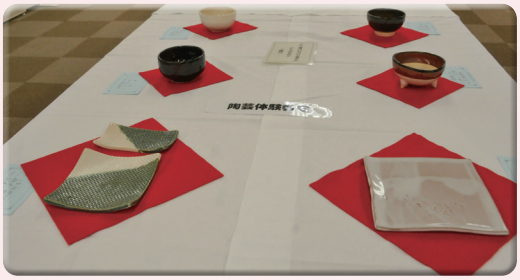
岡田水彩画グループ

マクラメ同好会

# 第55回 東員町文化祭

## 個人作品

## 公民館講座卒業生作品



## 大茶会　11月6日(日)

文化祭大茶会は好天に恵まれ、今回は茶室前の庭園にて野点を行いました。

感染対策にも気をつけ3年ぶりに開催できました事は皆様方のご協力があってのことと心より感謝申し上げます。

また当日ガールスカウトのかわいいお客様も多数参加してくださり私ども大変喜んでおります。

柴山茶華道教室
代表　柴山祐貴子

# 第55回 東員町文化祭

## 学校作品

## 学童作品

# 続々・歴史よもやま話

其の四

猪名部（いなべ）神社
第二五世宮司
石垣 光麿

## 「員弁郡十座」

員弁郡神社誌記載に「員弁郡十座」とされるものがあります。旧員弁郡には八十六の神社があり、そのうち十座が古来から存した神社で「延喜式内社」といわれ、通称「式内社」と称されるものです。

「延喜式」は平安時代の法制書で五十巻からなり、延長五（九二七）年に成立しました。その第九・十巻を「延喜式神明帳」といい、三一三二座の神社が記載されています。員弁では十社のお宮が記載されており、員弁郡十座として猪名部神社、石神社、鴨神社、平群神社、星川神社、多奈閇神社、鳥取山田神社、鳥取神社、大谷神社、賀毛神社が記載されています。これらの神社が一一〇〇年前には員弁に祀られていたのです。

平群神社も星川神社も員弁郡十座の一つで、志知、久米、星川、七和地区が員弁郡に属していたことがわかります。また、両神社が「日本武尊御駐足の跡」として知られ、桑名市で最も歴史が深く古い町といえます。

すぐお隣の中上の「多奈閇神社」も古いお宮です。昨年御本殿や拝殿、玉垣を新しく立派にされましたが、その際古い棟札（木簡）が納められていることがわかりました。かなり炭化して読み取りにくい状態ですが、現在の技術をもってすれば解読できるはずです。きっと新しい発見があるのではと期待を抱かされます。

## 〈ふるさと再発見の年に〉

また「史蹟豊かな町」東員町では埋蔵文化財調査がいよいよ始まります。「新・第一東員中学校」の建設に伴い、町内で古代文化財の宝庫とされる東員駅南付近、西畑遺跡山田廃寺付近を発掘調査の予定です。

これまで本格的な発掘調査は行われてきていませんが、戦国時代に焼き払われた古代寺院・員弁寺が有力とみられます。ひょっとして世紀の大発見となるやもしれません。これを機に「ふるさと再発見」の年になればと思います。

〝緑の松の　丘近く　史蹟豊けき　この郷に〟

これは東員第一中学校の校歌の冒頭です。私共の母校「東員中学校」は「東員町・桑名市組合立東員中学校」（略）が正式名称で、なぜか「組合立」とされてきました。

七和の五反田や大仲新田、星川地区は古来より「員弁」の一部であったが、昭和二十六年行政区分で「桑名市」に編入され、両市町の組合立として「東員中学校」は誕生しました。

東員中学校の校歌の続きは

〝古き文化を訪ねつつ　新しき世のゆく道を
正しく広く求めんと〟町の歴史文化に目を背けることなく、真正面からそれらと向き合うことによって、〝学ぶ我らに　幸あれや〟と校歌は結んでいます。

今回の埋蔵文化財調査が未来を担う子どもたちに最高のプレゼントとなることを期待します。

# 活動このごろ

## ひばり窯陶友会

### ひばり窯陶友会クラブ展
**8月26日(金)～8月28日(日)**
**於　東員町総合文化センター　2階展示室**

2年ぶりに開催したクラブ展で、会員が日頃制作した作品からお気に入りを披露。会場には「絵付け体験コーナー」を設け、来場者に、素焼きした器に絵筆を使って絵付けを楽しんでもらい、力作が焼きあがりました。

## 東員町大正琴クラブ

### 第10回彩音会大正琴コンサート
**9月18日(日)11時～**
**於　四日市市文化会館 第2ホール**

２年に一度の会員、講師による大正琴のコンサートですが、コロナの影響で3年ぶりの開催となりました。久々の演奏会で、会場は、ほぼ満員の状態でした。
楽しい一日を過ごすことができました。

## ニットルームかわまつ

**令和4年度文部科学省後援**
**(公財) 日本編物検定協会毛糸・レース編物技能検定試験**
**9月18日(日)**
**於　桑名市**

合格おめでとうございます
当教室から、毛糸3級、黒田小百合さん。毛糸2級、永島紫織さん。レース1級、稲垣恵さんが合格。中でも毛糸2級の永島さんは優秀な成績で、全国検定振興機構理事長賞を受賞しました。

## 岡田水彩画グループ

### 岡田絵画グループ合同展
**9月29日(木)～10月2日(日)**
**於　柿安シティホール**

岡田水彩画グループ（桑名市、東員町、川越町、朝日町）8グループによる合同展を3年ぶりに開催しました。
作品数は100を超え、来場者も700名を超える盛況のうちに終了いたしました。

## 気功クラブ

### 青空気功
**10月1日(土)**
**於　中部公園トレーニング広場横**

コロナやフレイルに負けない心と体の気功法を開催させて頂きました。
骨を強くする「かかと落とし」や交感神経を整える香功など楽しい音楽での気功ダンスで賑やかに終えました。

## 陶芸第一クラブ

### 自作の花瓶と生花展
**10月14日(金)～16日(日)**
**於　東員町総合文化センター**

陶芸の楽しさをもっと知って頂きたくて3年ぶりに展示会を開催。気軽に鑑賞頂きたくて、生花もお庭に咲いている花木でとのコンセプトで展示。期間中は約140名の方にご来場頂き、盛況のうちに終えることができました。

# 活動このごろ

## 第33回東員百人一首かるた大会

**10月9日(日)**

**於　東員町武道館**

**東員名人位の部**
優　勝　太田 智絵（おおた ちえ）桑名市
準優勝　川島 辰介（かわしま しんすけ）四日市市

**有段者Cの部**
優　勝　水谷 菜々花（みずたに ななか）暁高等学校２年
準優勝　門脇 悠斗（かどわき ゆうと）三重大学１年

**有段者Dの部**
優　勝　山下 明子（やました あきこ）亀山市
準優勝　西井 月（にしい るな）暁高等学校２年

**中学生の部**
優　勝　中辻 初菜（なかつじ はな）暁中学校１年
準優勝　庄村 慈（しょうむら いつ）暁中学校１年

**小学校高学年の部**
優　勝　西 理那（にし りな）松阪市立港小学校６年
準優勝　山田 千紗（やまだ ちさ）桑名市立藤が丘小学校６年

**小学校低学年の部**
優　勝　研谷 詠介（とぎたに えいすけ）鈴鹿市立一ノ宮小学校3年
準優勝　駒瀬 福（こませ さち）東員町立笹尾西小学校３年

**初心者の部**
優　勝　駒瀬　篤史（こませ　あつし）東員町
準優勝　駒瀬　雅（こませ　みやび）東員町立第二中学校３年

## 員弁東部吟詩会

### 吟道関心流吟詠発表大会

**11月23日(水・祝)**

**於　津アストホール**

年に一回の発表大会三重県大会　今回はコロナ対策として会場はマスク着用で吟詠の際はマスクを外しマイクカバーを取り付け手指消毒吟詠が終わると本人がカバーを外します。

東員支部も4人出席して発表しました。参加人117名でした。

## 笹尾民踊クラブ＆なでしこ虎の会

### 伊勢神宮・奉納おどり

**10月2日(日)**

**於　伊勢神宮・内宮参集殿・能舞台**

神嘗祭事業における奉納おどりが57回目の今年、新しい笹尾の地で人間関係を築こうと昭和55年、心の故郷をたたえる讃歌が住民の手によりレコード化された。

その「笹尾音頭・小唄」を故郷の歌として神宮・能舞台にて披露できました。

## 中部短歌会東員支部

### 創立百周年記念「短歌」大会

**11月20日(日)**

**於　名古屋マリオットアソシアホテル**

写真家の浅井慎平氏を迎え対談講演、歌会は、参加100名を超える短歌へ、大塚寅彦先生方の講評、授賞式を行った。懇親会は、今後の「中部短歌会」に向け、冨田講師方から、エールを頂き、「短歌百年」の合同歌集を発行された。

## 菊水流詩舞東員クラブ

### 笹尾睦会11月誕生会

**11月20日(日)13時～15時30分**

**於　笹尾コミュニティーセンター**

笹尾睦会は笹尾西・笹尾東地区の老人会です。

4ヶ月毎に誕生会を開催し、会員の芸能発表の場です。カラオケ・舞踊・民謡・詩舞等で出演者、観客含め毎回60人～70人程参加して親睦をはかっています。

# 活動このごろ

## 笹尾吟詩会

### 日本コロンビア全国吟詠コンクール決戦大会

**12月4日(日)**
**中野サンプラザホール(東京)**

日比光子さんが三重県代表として出場しました。

舞台で熱唱する日比さん

## Ｇｌｏｗ Ｍｉｘ☆

### Ｇｌｏｗ Ｍｉｘ☆発表会　風～ＫＡＺＥ～

**12月18日(日)**
**東員町総合文化センターひばりホール**

今は風の時代。元気な風・優しい風・力強い風ダンスで色々な表現を披露。1年間の集大成でクラス・チーム共に練習の成果を発揮し、沢山の方々に喜んで観ていただきました。

ご協力・応援本当にありがとうございました。

## 箏曲麗明社「廣翔会」

### いなべ市民祭舞台発表会

**11月27日(日)10時～**
**北勢市民会館さくらホール**

いなべ市芸術文化協会の舞台発表会（秋の部）に「紅色の空」を箏三重奏で演奏しました。

コロナ禍でも開催されて良かったです。

## 追悼　川村光男様

劇団「員弁川」代表の川村光男様が、令和4年10月1日（土）に逝去されました。

「30数年、文化協会役員そして、常務理事や事業委員長として協会の活動運営に参画し、様々なことでご協力いただいた稀有な存在の川村さんでした。

演劇は勿論ですが、特に「さくら茶会」や「とういん寄席」の設営等には、演劇の知識を生かして現場の企画提案をして頂き、労力も惜しまずご協力いただきました。

東員町文化協会としては、言葉では言い表せないほど感謝してもしきれない存在の人でした。心よりご冥福をお祈りいたします」

一般社団法人東員町文化協会　　会長　大貫正博

# 東員町と桑名市の関係(3)

## ―上げ馬神事編―

（一社）東員町文化協会　元参与　大井弘久

『東員町と桑名市の関係』第三回（最終回）は、東員町猪名部神社（大社祭）と、桑名市多度大社（多度祭）で毎年春に開催されている『上げ馬神事』について書く。

三重県内には、県無形民俗文化財に指定されている「上げ馬神事」が二件ある。共に少年騎手が祭馬に跨って約二メートル余の絶壁を駆け上がる神事となっている。

多度大社の上げ馬神事

まず一つ目が、多度大社上げ馬神事（昭和五十三年二月七日指定）として全国的に知られているのがこちらだろう。毎年地元の御厨（みくりや）といわれる六地区から六人の騎手（きしゅ）と別の地区から一名の神児（ちご）を出す。

多度大社は、五世紀後半雄略天皇の御代に創建されたと伝えられ、御祭神の関係から北伊勢大神宮とも称される。古くは、伊勢国内で伊勢神宮を除いて最も高い神階を有していて、伊勢国一宮であったとも言われている。一五七一年に織田信長の兵火に罹り、社殿等が悉く焼かれてしまう。その後、本多忠勝らによって社殿・神事が再興をとげる。上げ馬神事は、約七〇〇年前の南北朝時代から行われてきたとされている。

多度大社の上げ馬神事は、御例祭（多度祭）の神賑行事の一つで五月四・五日に実施され、多くの参拝者で境内・参道は、埋め尽くされる。

この神事では、古くより上がった馬の順番や数で農耕の時期や豊凶が占われてきた。近年では、その上がり具合によって景気の良しあしなども占われる。また、商売繁盛・学力向上など飛躍を願う人々の参拝も多く見られる。

猪名部神社の上げ馬神事

二つ目が員弁郡東員町の猪名部神社上げ馬神事（平成十四年三月十八日指定）で氏子区域の二地区と、氏子区域外の二地区計四地区から騎手（乗り子）五人が選出される。こちらは、四月第一土・日が開催日である。

猪名部神社の創建は、明らかでないが、延喜五（九〇五）年には、既に延喜式内社として列せられている。

上げ馬神事は、現在、四月第一土・日曜に開催される神社の大祭の大社祭（おやしろ）りで行われる。

鎌倉時代、建久三（一一九二）年、員弁郡司の員弁三郎行綱が、現在の東員町大木に居城していた時に青年の士気を鼓舞する為に流鏑馬神事をした事に始まると伝えられている。

その十年後に行綱に伊勢の国の守護暗殺の濡れ衣がかかったが、猪名部神社のご加護により難を逃れた。

これにより建仁三（一二〇三）年境内の一隅に「上げ坂」を築き、「上げ馬神事」を奉納した。南北朝以降に途絶えたが、江戸時代末期に一旦再興し、明治六（一八七三）年さらに復興して現在に及んでいる。

上げ馬神事は、本来神の乗る馬を奉納するものであったが、何時の頃からか坂を駆け上がる形となり、稲作の吉凶を占うようになったと伝えられている。坂は、境内を南側から上がる形になっている。

この二つの上げ馬神事、神社の由緒では、猪名部神社の方が、多度神社より一六〇年ほど古いという。共に中断などがあったが日本でこの二つしかない神事は、現在では、上げ馬に使う馬などの貸し借りなどで協力しあっており、共に長く続けてもらいたいものだ。

# 中部短歌会　東員支部　詠草十二首

○寄りてゆく雲に迎える雲ありて出あい広がる冬の青空　中村トミコ

○玉三郎最前列でかぶりつき八重垣姫の息づかい聞く　山田百合子

○巣箱にて働き蜂は静もれり己の寿命知っているのか　杉本まゆみ

○キーキーと秋雨の中を鵯(ひよ)飛ぶは宅配便か鳥の世界の　加藤　貴代

○鳰(にお)の海吸い込まれそうな群青の水面はのみこむ四方の歴史を　宮永　洋子

○なごりおしそうに木の間に満月は我を覗けり両手合わしぬ　三田　祐子

○わが庭のハイビスカスの大輪を不思議に見おり中年紳士　松本美江子

○目標を持ってかざして透かすとき冬の青空きれいに見える　山田由紀子

○笠取山いただき近くに林立の白き風車に眼を見張りたり　早川　進治

○ゆったりと友と語らうひと時に温き焙じ茶かりん糖旨し　川合　孝子

○見過ぎへのカタルシスとぞ師は答う短歌の効用問いたるわれに　冨田　博一

○「勝ったねえ」が今朝の挨拶この持ち場　あちらの持ち場も「三笘の一ミリ」　小森　逸子

# しゃくやく俳句会

山藤の咲き登るとも垂るるとも　国枝　隆生

自註　ネオポリスの万助溜には山藤が自生している。藤は蔓性のため、木に絡んで登り咲くようにも見えるし、垂れつつ咲くようにも見える。その微妙な状態を詠んでみた。ある俳句総合誌で特選に採られたことも思い出される。

露草や畦の中なる平家の碑　国枝　洋子

自註　東員町は平家ゆかりの地であることは知らなかった。東員町の歴史に詳しい句友の案内で説明を受け、畦道にひっそりと建っている碑が寂しげであった。

田仕舞は母の自慢の五目飯　水谷　仁士

自註　母は五目飯が得意でした。人参、ごぼう、油揚げ、竹輪、鶏肉を入れた五目飯は田仕舞、稲取仕舞の後のご馳走でした。田仕舞は私の近所では「野あがり」とも言っています。ある俳句総合誌に秀逸で採って頂きました。

# 第30回 春の文協まつり

※文協まつりの内容につきましては、変更になる場合があります。
※来場される方は必ずマスクを着用していただきますようお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽開催をとりやめる事がありますのであしからずご了承ください。

## 作品展　入場無料

**3月8日(水)～12日(日)**

展示時間　9:00～17:00
(初日は13:00～最終日は15:30まで)
場　　所　東員町総合文化センター 特設展示会場
主な出展団体(文化協会加盟団体)と出展者
陶芸第一クラブ・ひばり窯陶友会
東員フォトクラブ・東員絵画クラブ
書道第一クラブ・書芸八千代会・楽絵筆
岡田水彩画ブループ・写遊人
中部短歌会東員支部・しゃくやく俳句会
石垣茶華道教室・柴山茶華道教室
ニットルームかわまつ・
洋裁サークル・マミー
もめんの花
文化協会会員・公民館講座卒業生
出展内容　陶芸・写真・絵画・文芸・生花・書道
工芸・手芸・編物・洋裁・その他
特別展示　陶芸　　森 一蔵
(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

## 大茶会(抹茶)

**3月12日(日)　10:00～15:00**

場　　所　東員町総合文化センター
茶　　券　**一般 500円　18歳以下 300円**
(前売券は文化協会事務局で販売) 当日券あり

## 芸能祭　入場無料

**3月19日(日)　10:30～(開場10:00)　限定公開**

場　　所　東員町総合文化センター　ひばりホール
出 演 者
文化協会加盟団体
YYフラグループ・YYウクレレグループ
飛龍東員太鼓・バトンメイツフェニックス・
Glow Mix☆・員弁東部吟詩会
菊水流詩舞東員クラブ・箏曲麗明社「廣翔会」
東員町大正琴クラブ・笹尾民踊クラブ
笹尾吟詩会・民謡寿会
(順不同)
特別ゲスト　津軽三味線ユニット　KUNI-KEN
司　　会　川井 道子　中村 厚子
(関係者のみの限定公開とさせていただきます)

## 囲碁大会

**3月5日(日)　10:00～**(受付 9:00)

場　　所　東員町総合文化センター
対　　象　囲碁に興味がある方ならどなたでも参加できます。
そ の 他　棋力によりクラス分け各人4回対戦し順位を決めます。
参 加 費　**大人 男性 2,000円、女性 1,500円**
**文化協会会員 1,000円**
**学生(小・中・高生) 1,000円**
※当日会場でお支払いください(昼食付)
問い合わせ　平田　☎090-4183-2725

**主催　(一社)東員町文化協会**
**後援　東員町教育委員会**
**申込・問合せ先　(一社)東員町文化協会　☎76－7711**

編集後記

本年度は、東員町文化祭期間中最終日に、3年ぶりに茶室でなく庭園の野点席で大茶会を行ないました。秋の日差しを受けながら一服のお茶で和やかな時が緩やかに流れました。

今年こそは、コロナが収束して、事業計画通り文化のイベント等が実施できることを切望いたします。関係者の方々、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

(平野義人)

(広報委員)
**編集担当**　川松 由喜子　木村 真由美
山田 由紀子　平野　義人
**ホームページ担当**　照井 亮平

発行　一般社団法人 東員町文化協会
三重県員弁郡東員町山田1700
東員町総合文化センター内
TEL 0594-76-7711
FAX 0594-76-2888
E-mail info@toin-ca.org
https://www.toin-ca.org

印刷：冊子印刷ドットコム